

お元気ですか

つかじさちの

メール便

第814号



日本共産党高知県議会活動報告

2016年 9月/8日発行
電話 088-823-9524 (議会控室)
088-843-9281 (自宅)



伊方原発再稼働で電力供給予備率26%に

安定供給予備率の8%も大幅に超過

四国電力は12日、四国地域内の今後10年間の供給計画を見直したと発表。その内容を見てびっくり。何と、最大需要に対する余裕予備率は26%前後に増加し、変更前からのポイント程度の上上げとなったとのこと。一般的に、電力の安定供給のために必要な予備率は8%とされていいます。つまり、原発の再稼働をしても14%の予備率は確保できていることとなり、原発を動かさなくても安定供給も可能であることが示されています。これは、伊方原発がなくても安定供給の目標となる8%も今年も上回ったことになったため、本稼働で四国外に20万〜30万戸の販売を始めた報告。衣報担当者は、「余剰分は他電力や卸売市場への販売を検討し、収益力向上をめざしています。何のための再稼働か、その本質が明らかになりました。」

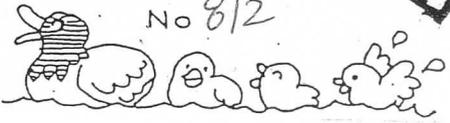
5年6ヶ月のメモリアルデ-宣伝

毎月11日は、「東日本を忘れない、フクシマをくり返さない」といふろの市場前で行っている日本共産党高知地区委員会、委員会のメモリアル宣伝です。

今だに9万人もの人が避難生活を強いら、生業の見通しもたないのに、補助制度を来年には打ち切り政府、まさに「棄民政策」。私たちは声をあげ続けていきます。

ねるがも日記

No.812



私の住んでいる街の自主防災会で 起震車体験防災訓練実施

「おー！こい程振ゆるかよ、こりゃ家具の固定もしゃかないかん」の声。



朝倉米田地区中、自治会・自主防災会主催

我が家の裏山に、手っ赤な後産死のじゅうたんが今年もお目見え。吹く風のさしややかさと空の高さに秋を感じる季節となりましたね。

9月19日は、昨年同会で「戦争法」が強行採決された日。ちやうど一年目を迎えます。いよいよその法律を動かす、紛争の続く南スーダンに派遣されている自衛隊員に武器の使用をさせ他国軍等の警護の任務を与えようとしています。

19日13時から丸の内緑地公園で反対集会、ぜひおこしませ